

高齢者の死亡・重傷事故を防ぐために

～ストーブ、介護ベッド及び関連製品、脚立、電動車いすなどの事故に注意～

敬老の日を前に、平成24年度から平成28年度の5年間の製品事故情報の中から65歳以上の高齢者^{※1}が被害に遭った事故（以下、「高齢者の事故」という）を整理しました。

NITE(ナイト)が収集した、平成24年度から平成28年度の製品事故情報のうち、高齢者の事故は1,280件となっており、そのうち死亡事故126件、重傷事故176件に上っています。

高齢者の死亡及び重傷事故は事故の原因が製品の使い方によるものが約6割と多く、事故の防止には、高齢者本人だけでなく家族や周囲の方々の注意や理解も重要です。

高齢者の事故を、65歳以上70歳未満、70歳以上80歳未満、80歳以上で整理すると、事故の発生状況に差があり、年代が上がるにつれて被害の程度が重篤化する傾向にあります。また、事故発生件数の多い製品にも差があり、それぞれ気を付けるポイントがあります。

表1 高齢者の年代別の死亡及び重傷事故における、使い方が原因となった事故

65歳以上70歳未満	23件	70歳以上80歳未満	59件	80歳以上	70件
脚立・はしご・踏み台	5	ストーブ	16	ストーブ	15
ストーブ	3	脚立・はしご・踏み台	8	介護ベッド及び関連製品	12
電動車いす	2	こんろ	5	電動車いす	7
住宅	2	電動車いす	4	こんろ	4
靴	2	介護ベッド及び関連製品	3	暖房機能付き便座 ^{※2}	4
介護ベッド及び関連製品	1	除雪機	2	除雪機	3
こんろ	1	いす	2	歩行車・歩行器	3
除雪機	1	草刈機・芝刈機	2	脚立・はしご・踏み台	2
いす	1	住宅	1	いす	2
歩行車・歩行器	1	靴	1	靴	2
その他	4	その他	15	その他	16

※2：温水洗浄便座など

高齢者の事故を防ぐためのポイント

◆70歳以上の皆様へ

高齢者の死亡事故が最も多い製品はストーブです。例として、ガソリンの誤給油や給油時にカートリッジタンクを十分に締めていなかった事故などが挙げられます。ストーブの誤った使い方、慣れや油断は禁物です。この機に安全装置の付いた製品への買い替えも検討しましょう。

◆80歳以上の方とご家族や周囲の皆様へ

80歳以上から介護ベッド周りの製品による死亡・重傷事故が増えます。最も多いのが、ベッド周りの隙間に頭や首など身体を挟まれる事故です。介護者は介護ベッド及び関連製品の隙間に細心の注意を払い、わずかな隙間でも保護カバーを掛けるなど対策を取ってください。

◆屋外などで作業をされる高齢者の方へ

脚立・はしご・踏み台からの転落による重傷事故に注意しましょう。65歳以上では庭木の剪定（せんてい）中や清掃中の事故が多く報告されています。自分の体力や運動能力を過信せず、無理をしないよう心がけてください。

(※1) 本資料では、WHO(世界保健機構)が定義する高齢者(65歳以上)を対象として、集計、分析を行った。

1. 事故の発生状況

平成 24 年度から平成 28 年度の 5 年間に NITE が収集した製品事故情報は 11,655 件で、そのうち被害者の年齢が判明した事故は 4,840 件ありました。そして、4,840 件中、1,280 件が高齢者の事故です。

(1) 年度別 事故発生件数に占める高齢者の事故発生件数

図 1 に「年度別 事故発生件数に占める高齢者の事故発生件数」を示します。

高齢者の事故は全体の 26%、1,280 件で、平成 25 年度以降、事故件数が年々減少していることに伴い、高齢者の事故も減少しています。高齢者の事故が占める割合に変化は見られず、約 4 分の 1 と横ばいとなっています。

事故発生年度 平成24年度～平成28年度の製品事故総件数11,655件のうち、年齢が判明した4,840件が対象

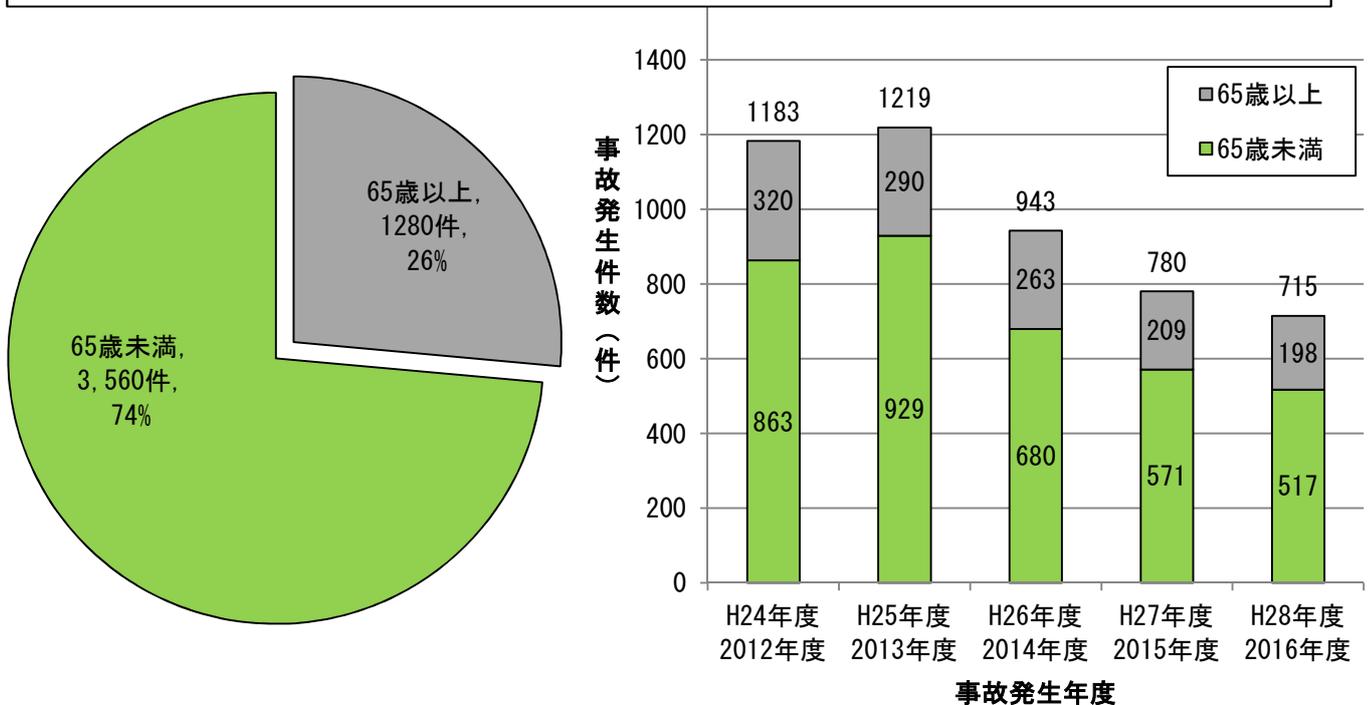


図 1 年度別 事故発生件数 (全年齢)

(2) 被害状況別 事故発生件数

図2に被害者の年齢が判明した4,840件の「被害状況別 事故発生件数」を示します。
5年間で発生した死亡事故は177件で、そのうち高齢者の死亡事故は126件と71%を占めています。

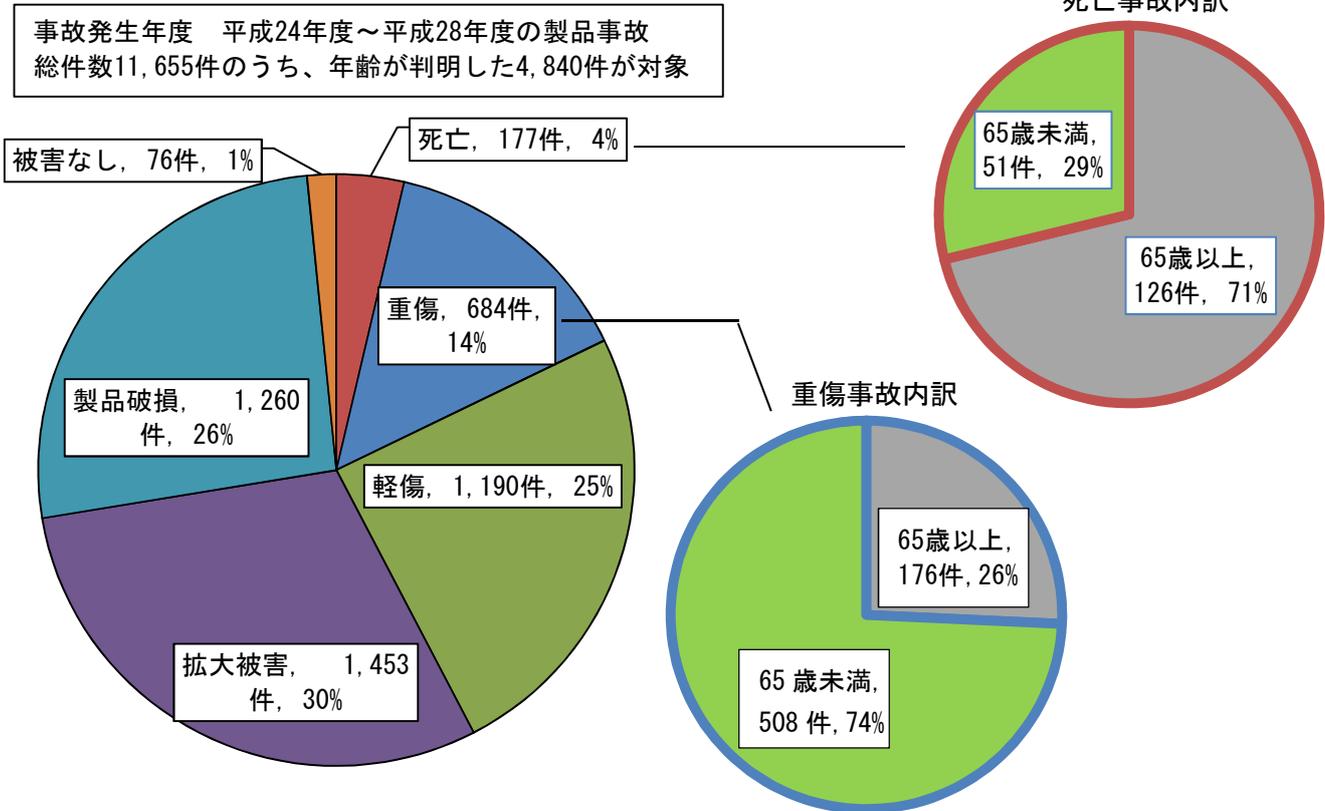


図2 被害状況別、事故発生件数

(3) 月別 事故発生件数

図3に高齢者の事故1,280件における「月別 事故発生件数」を示します。1月が最も事故発生件数が多く、4月、9月が共に最小です。これは、冬場にストーブなどの暖房器具の事故が増加することが影響しています。

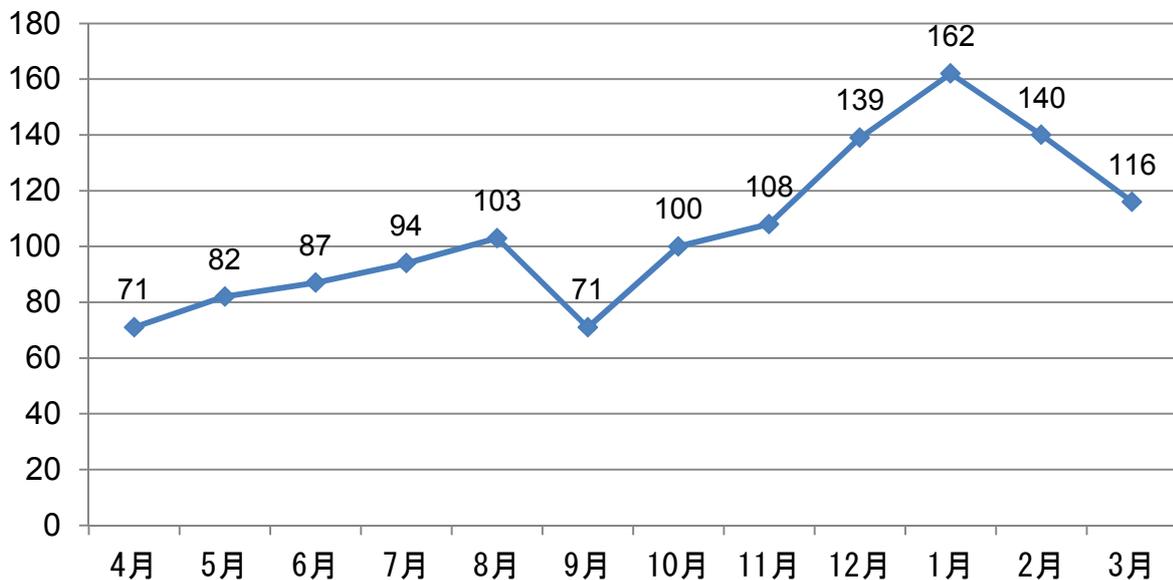


図3 月別 事故発生件数

(4) 年代別 被害状況別 事故発生件数

図4に高齢者の事故1,280件における「年度別 高齢者の事故発生件数」を、図5に「年代別 被害状況別 事故発生件数」を示します。事故発生件数は減少していますが、火災事故件数は毎年150件前後と横ばいのため、高齢者が火災事故に遭う割合は年々増加しています。また、年代が上がるにつれ、死亡事故の割合は増加しており、高齢になるほど人的被害が重篤化しやすいことがわかります。

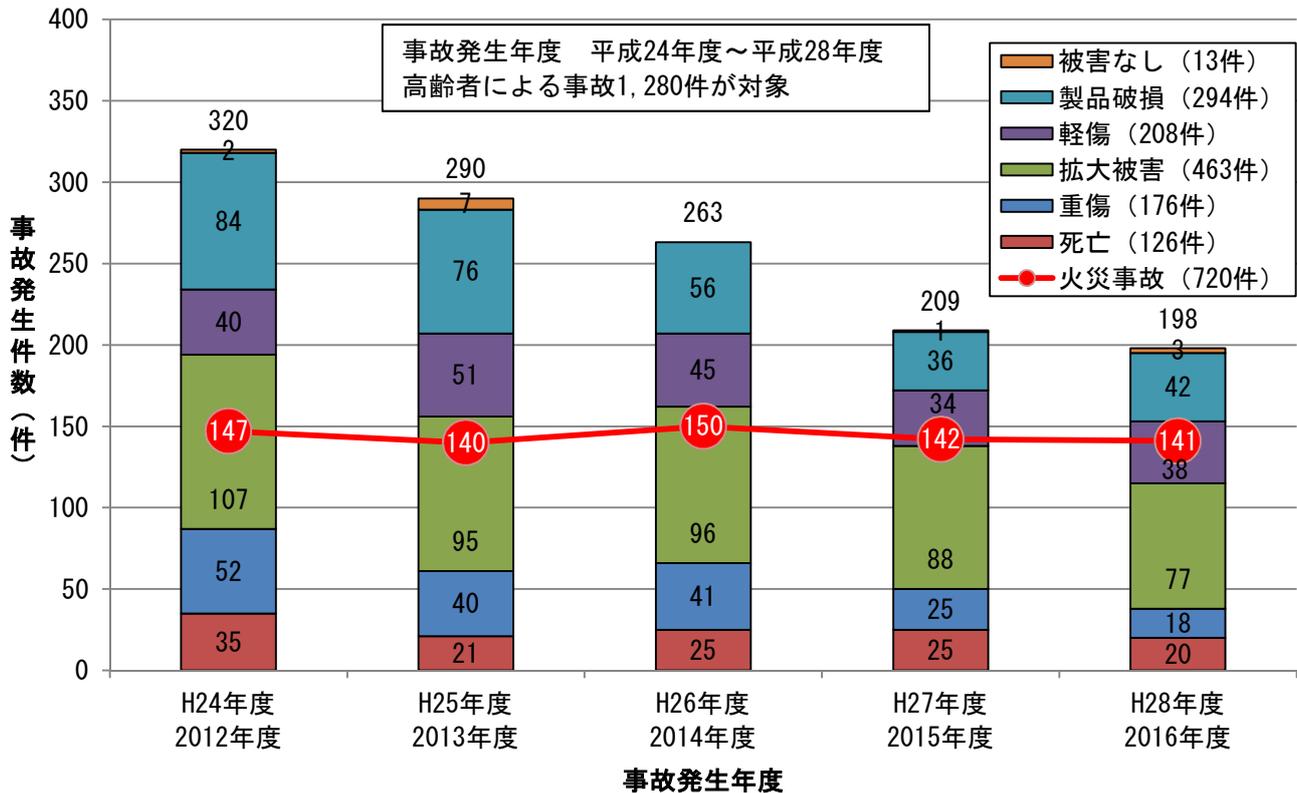


図4 年度別 高齢者の事故発生件数

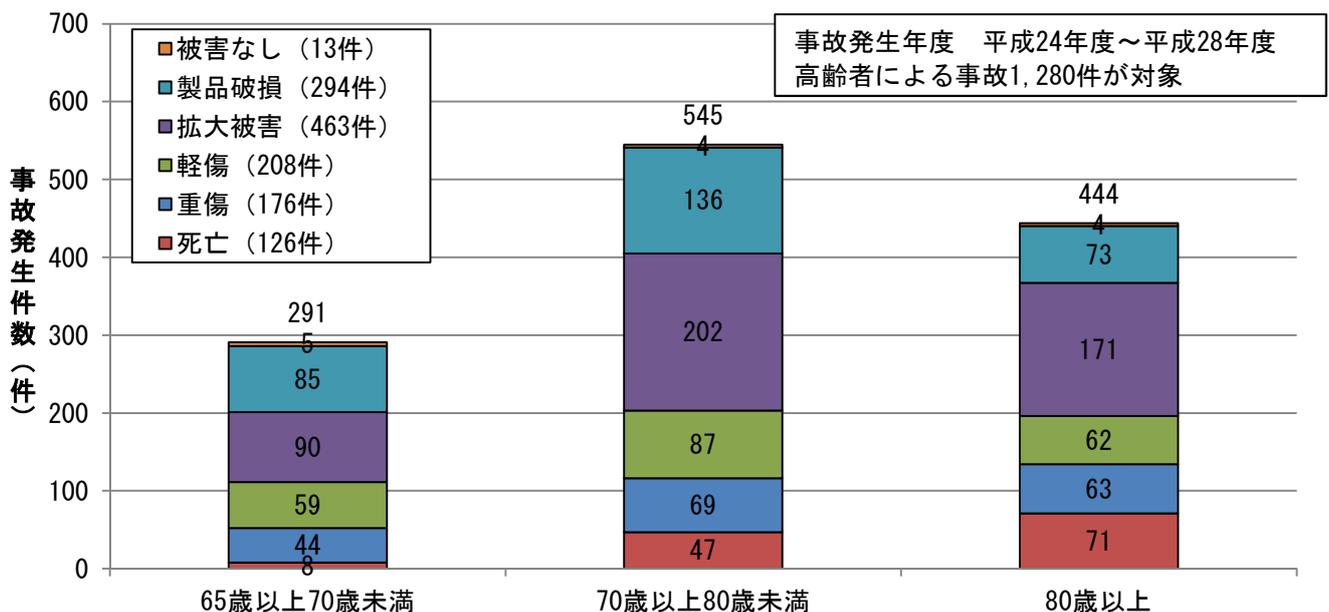


図5 年代別 被害状況別 事故発生件数

(5) 死亡及び重傷事故における事故発生件数

図6に高齢者の事故1,280件のうち、死亡及び重傷事故302件における「製品別 年度別 事故発生件数」を示します。製品は多岐にわたるため、図6には事故発生件数の多い10製品^{※3}を製品別に示し、それ以外をその他として示します。

介護ベッド及び関連製品や電動車いす、歩行車など、主に高齢者が使用する製品も含まれていますが、ストーブや脚立・はしごなど、高齢者に限らず広い年代が使用する製品も上位に上がっており、それらの製品は高齢者の死亡及び重傷の割合がほかの年代に比べて高くなっています。

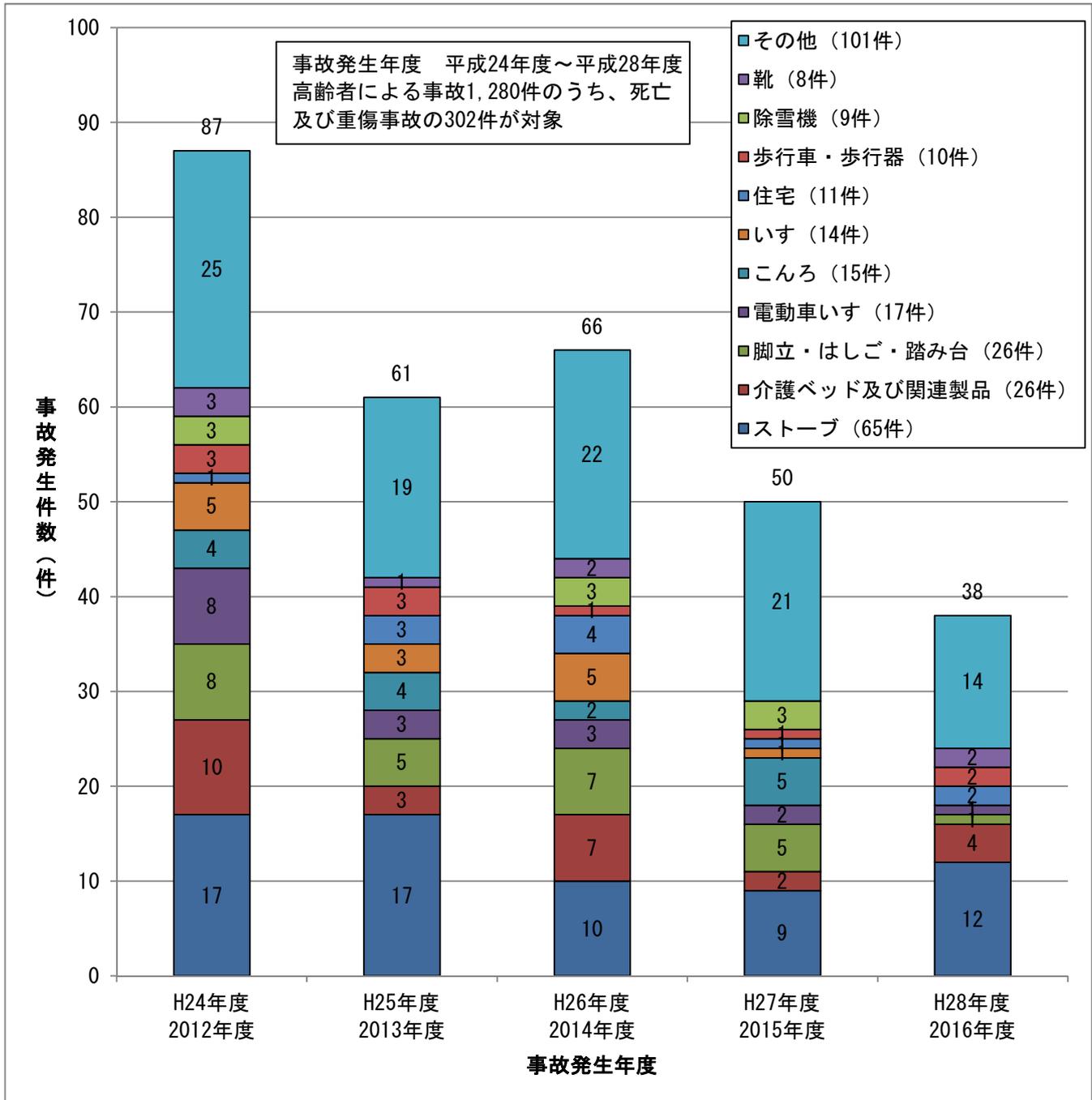


図6 製品別 年度別 事故発生件数

(※3) 「ストーブ」は石油ストーブ、電気ストーブ、及び石油ファンヒーター、「介護ベッド及び関連製品」は介護ベッドや介護ベッド用すりや柵、介護リフトなど。「住宅」は窓やドアなどの住宅設備全般を指します。

図7に図6に示した死亡及び重傷事故の多い10製品の事故件数及び内訳を示します。
 死亡事故はストーブの件数が突出しています。高齢者にとって、ストーブ^{※4}は最も注意すべき製品といえます。続いて、介護ベッド及び関連製品、電動車いすと主に高齢者が使用する製品で死亡事故が発生しています。脚立・はしご・踏み台の死亡事故は1件ですが、重傷事故は最も多く発生しています。

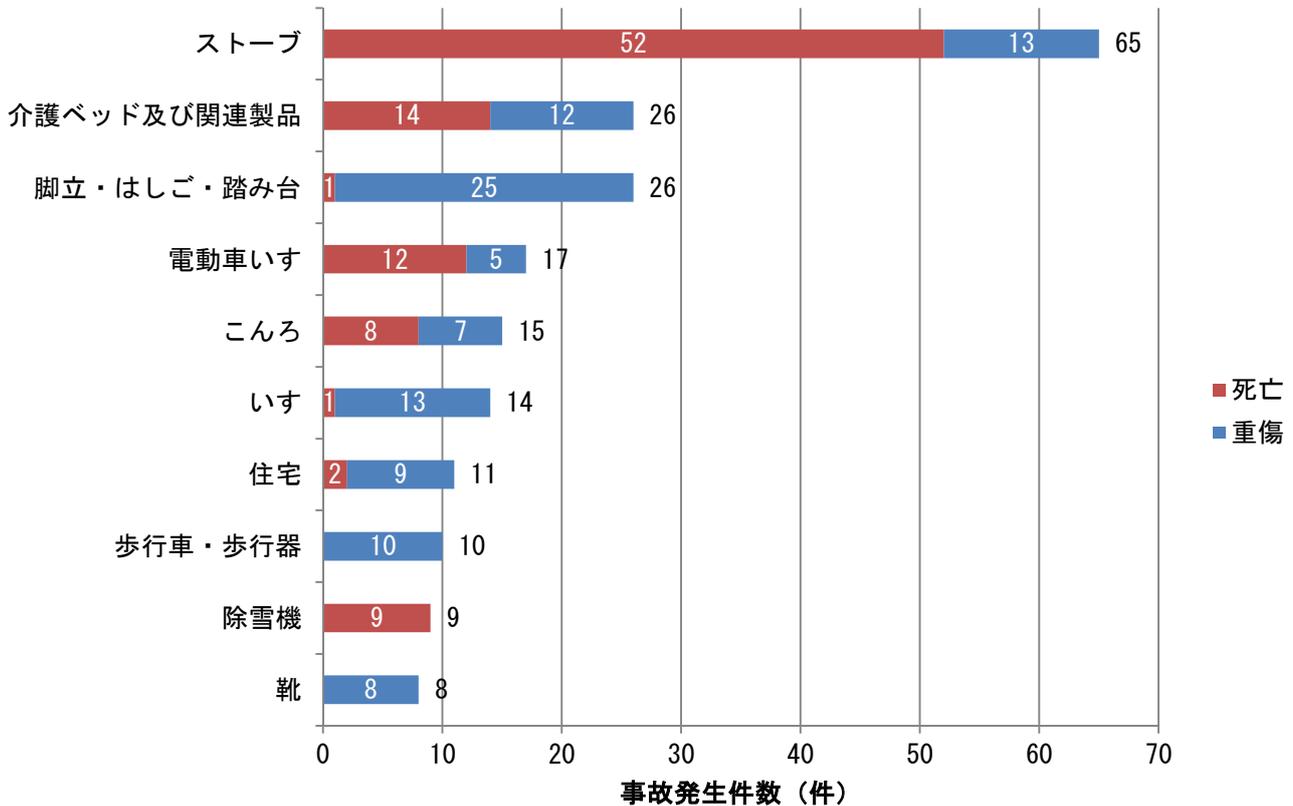


図7 10品目の死亡・重傷事故内訳

(※4) ストーブの死亡及び重傷事故は65件中40件が石油ストーブ、20件が電気ストーブ、5件が石油ファンヒーターです。

(6) 事故原因区分別 事故発生件数

図8に高齢者の死亡及び重傷事故302件のうち、調査が終了し公表している253件における「事故原因区分別 事故発生件数」を示します。

事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 40件（16%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 152件（60%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3を除く G） 61件（24%）

の比率になっています。

高齢者の死亡及び重傷事故は多くが製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F）であり、152件（60%）が主に不注意や誤った使い方等によって発生しています。

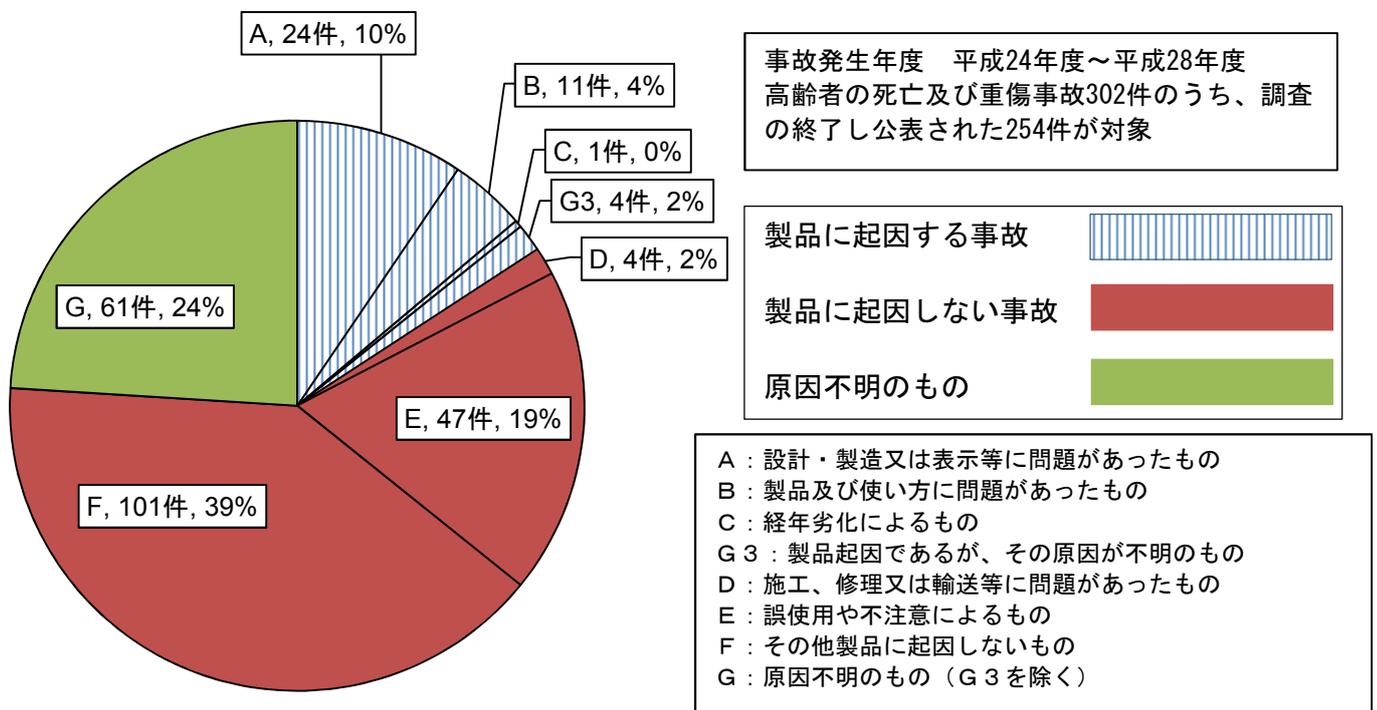


図8 事故原因区分別 事故発生件数

(7) 年代別 被害状況別 事故発生件数

図9に高齢者の死亡及び重傷事故302件のうち、主に製品の使い方による事故（事故原因区分D, E, F）152件における「年代別 製品別 死亡及び重傷事故発生件数」を示します。

高齢者の中でも65歳以上70歳未満は死亡事故の割合は少なく、70歳以上になると死亡事故件数が大きく増加し、80歳以上が最も多くなっています。年代が上がるほど、製品の使い方を誤った際の被害が重篤化しています。また、死亡・重傷事故が発生している製品は、年代で違いがあり、死亡事故が最も多いストーブは、65歳以上70歳未満では1件に対し、70歳以上80歳未満では13件、80歳以上では12件と、70歳以上から大きく増加します。

介護ベッド及び関連製品の誤使用・不注意による死亡事故は、80歳未満ではみられず、80歳以上で9件発生していますが、これは介護が必要となる場合が増えてくることが影響しており、事故の要因は高齢者の使い方というよりも、介護者の不注意・誤使用が考えられます。次いで死亡事故件数が多い電動車いすは年代が上がるにつれ、死亡事故件数が増加しています。

脚立・はしご・踏み台の事故は重傷事故で、65歳以上70歳未満で5件、70歳以上80歳未満で8件と、80歳未満で多く発生しています。

65歳以上70歳未満(死亡3件、重傷16件) 70歳以上80歳未満(死亡21件、重傷24件) 80歳以上(死亡32件、重傷22件)

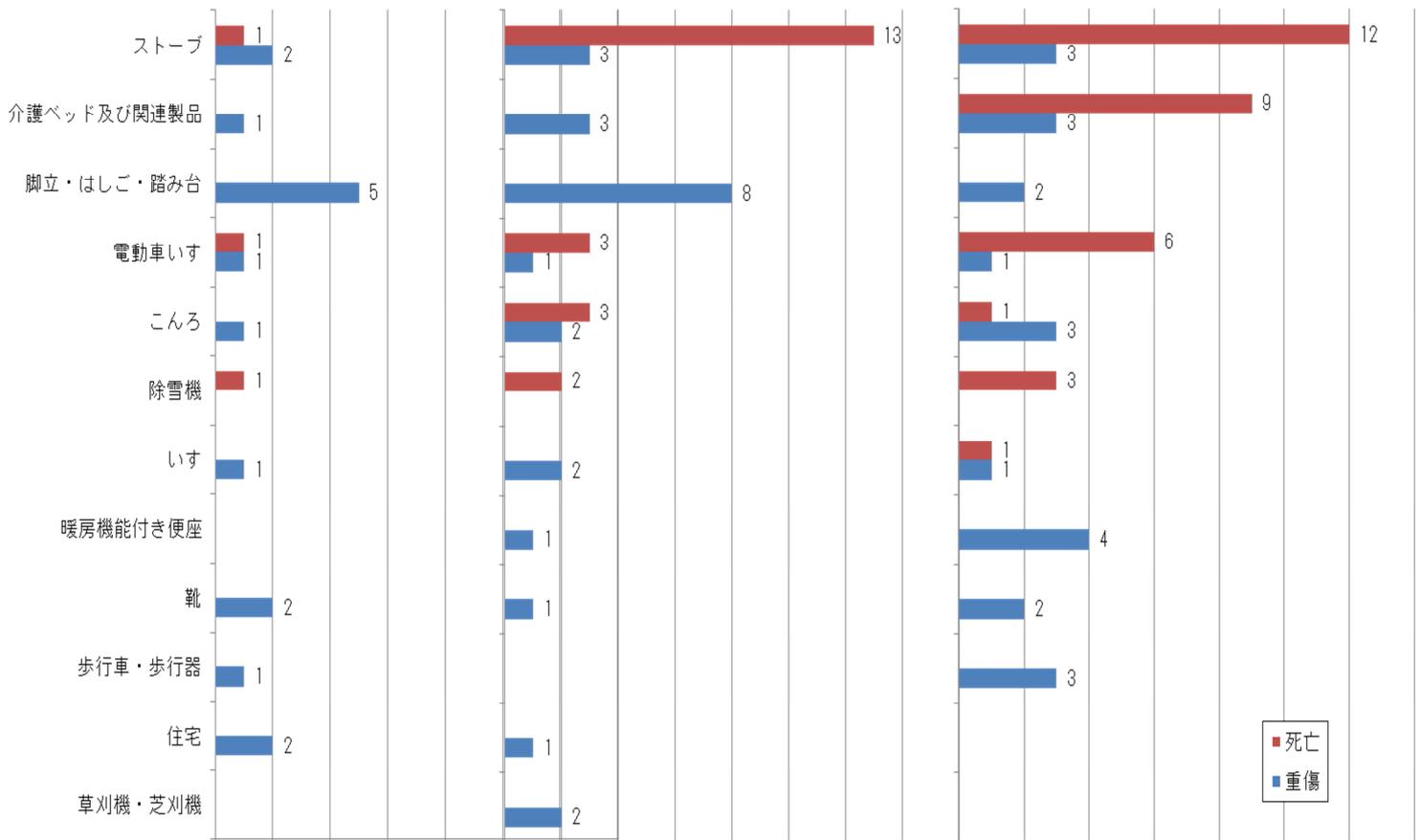


図9 年代別 製品別 死亡及び重傷事故発生件数（主な製品について集計）

2. 高齢者の死亡及び重傷事故の事例

①ストーブの火災事故

(イ) カートリッジタンクから漏れた灯油に引火

平成 26 年 2 月 7 日 (2014 年 2 月 7 日) (大阪府、80 歳代・女性、重傷)

【事故の内容】

使用中の石油ストーブから出火し、住宅を全焼する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者が石油ストーブのカートリッジタンクへ給油後、給油口ふたを完全に締めずにタンクをストーブへ入れようとしたため、灯油がこぼれて燃焼部にかかり、火災に至ったと考えられる。

(ロ) 誤ってガソリンを給油し、異常燃焼

平成 28 年 1 月 29 日 (2016 年 1 月 29 日) (神奈川県、70 歳代・男性、死亡)

【事故の内容】

使用中の石油ファンヒーターから出火し、建物を全焼し、1 名が死亡した。

【事故の原因】

使用者が石油ファンヒーターのカートリッジタンクに誤ってガソリンを給油して使用したため、異常燃焼し火災に至ったと考えられる。

②脚立・はしご・踏み台の転落事故

(イ) バランスを崩し、落下

平成 25 年 11 月 19 日 (2013 年 11 月 19 日) (三重県、65 歳以上 70 歳未満・男性、重傷)

【事故の内容】

脚立に乗って庭木を剪定 (せんてい) 中、転倒し重傷を負った。

【事故の原因】

使用者は剪定 (せんてい) 作業中にバランスを崩して転倒したと考えられる。
両手で枝切はさみを使って作業をしており、補助者はいなかった。

③電動車いすの転倒事故

(イ) 使用者が運転操作を誤り、転落

平成 26 年 9 月 11 日 (2014 年 9 月 11 日) (宮崎県、90 歳代・男性、死亡)

【事故の内容】

使用者が電動車いすで工事現場の誘導路を走行中、工事用の穴に転落し、数日後、死亡した。

【事故の原因】

道幅約 1m の誘導路を走行していた際、使用者が運転操作を誤り、転倒したと考えられる。

④除雪機の巻き込み事故

(イ) 除雪機に巻き込まれた

平成 28 年 1 月 21 日 (2016 年 1 月 21 日) (長野県、70 歳代・男性、死亡)

【事故の内容】

除雪機を使用中、使用者が下敷きになり、死亡した。

【事故の原因】

使用者は除雪機の非常停止スイッチ（使用者が離れると緊急停止する安全装置）を無効化して使用しており、その状態で後進運転中に使用者が転倒したため、除雪機が停止せずに使用者をひいたと考えられる。

⑤暖房機能付き便座で低温やけど

(イ) 長時間使用して低温やけど

平成 27 年 10 月 9 日 (2015 年 10 月 9 日) (北海道、80 歳代・女性、重傷)

【事故の内容】

施設で使用者が暖房機能付き便座を使用したところ、低温やけどを負った。

【事故の原因】

暖房便座の温度調節を「強」の状態ですべて長時間着座していたため低温やけどを負ったと考えられる。

なお、当該施設では、常時、温度調節スイッチつまみを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いていたが、事故発生時は、便座の状態を確認せずに使用者に使用させていた。

⑥介護ベッド及び関連製品の挟まれ事故

(イ) リモコンの操作を誤り、隙間に身体を挟まれた

平成 27 年 10 月 26 日 (2015 年 10 月 26 日) (東京都、70 歳代・男性、重傷)

【事故の内容】

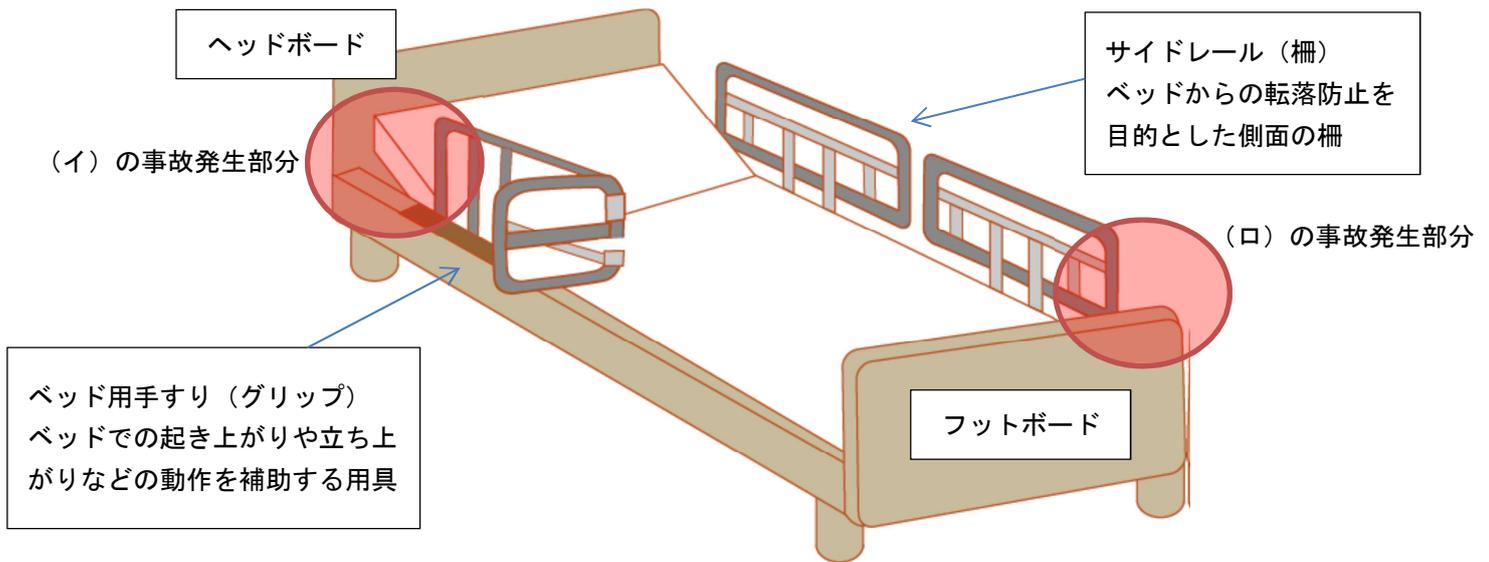
使用者が介護ベッドのリモコンを操作したところ、介護ベッド用すりすり介護ベッドの隙間に手が挟まり、負傷した。

【事故の原因】

使用者が介護ベッドの隙間に手を入れた状態で、リモコンを使ってベッドの背上げ操作を行ったため、手が抜けなくなり、持ち上がってきたベッドマットと介護ベッド用すりすりの間に手を挟まれたと考えられる。



ベッドマットの稼働
方向



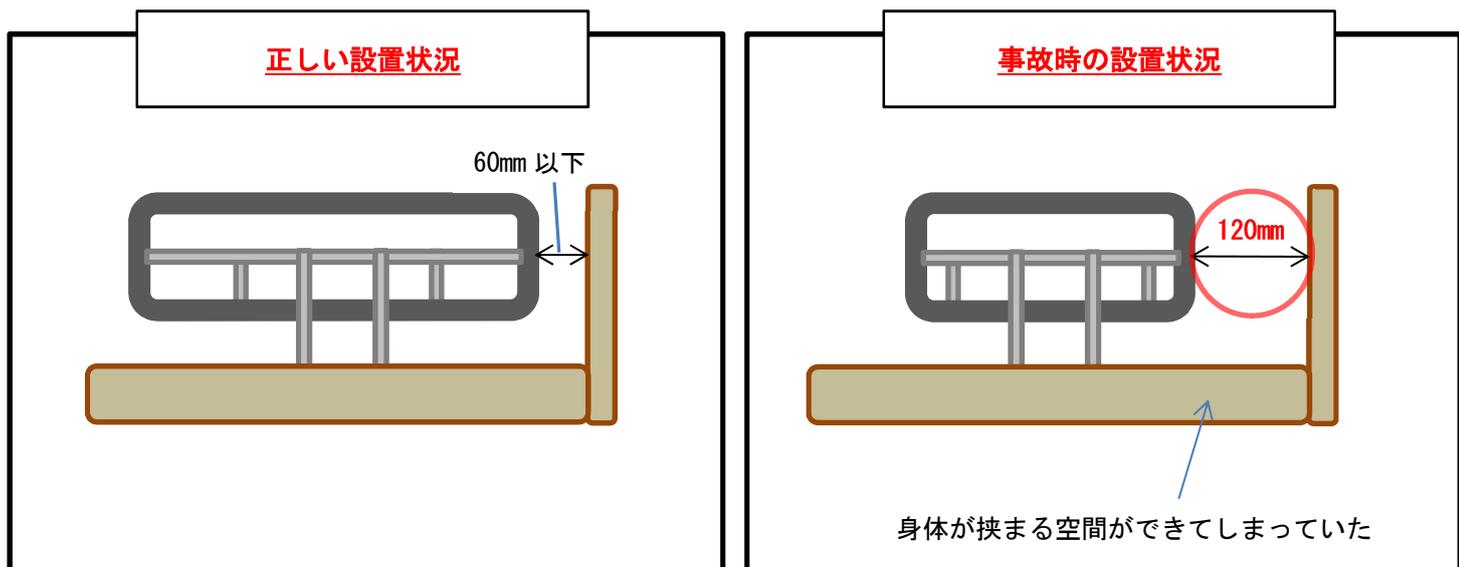
(ロ) サイドレールとフットボードの隙間に身体を挟まれた
平成 27 年 3 月 26 日 (2015 年 3 月 26 日) (広島県、80 歳代・男性、死亡)

【事故の内容】

使用者が介護ベッド用サイドレールと介護ベッドのフットボードの間に挟まった状態で発見された。

【事故の原因】

使用者家族が標準サイズのベッドに短いサイズの適正でないサイドレールを組み付けたため、サイドレールとフットボード間の隙間が広くなり、使用者が胴体部を挟み込んだと考えられる。なお、レンタル事業者はこのような使用方法により隙間が生じる危険性を使用者の家族に伝えていたが、家族はそれを承知して使用を続けていた。



事故を防ぐためのポイント～高齢者の皆様へ～

●70歳以上の皆様へ

死亡事故が最も多いストーブに注意

高齢者の死亡事故が最も多い製品はストーブです。平成24年度から平成28年度までのストーブにおける死亡事故のうち、使用者の年齢が判明した65件中49件(75%)は70歳以上です。事故の詳細を確認すると、石油ストーブのカートリッジタンクのふたを十分に締めていなかったものや石油ファンヒーターへのガソリンの誤給油などが多く、これらの事故は他の年代ではあまり見られないことから、握力や判断力の低下など高齢者の身体・感覚機能の低下が関係していると思われます。

■注意するポイント

今一度正しい使い方を確認する。

- ・給油の際は必ず消火する。
- ・給油作業後はカートリッジタンクのふたが確実にしまっていることを繰り返し確認する。
- ・ガソリンを使う方は灯油と間違えないよう別に保管する。
- ・安全装置のついた製品に買い替えることも検討する。

●80歳以上の方とご家族や周囲の皆様へ

介護ベッド及び関連製品による事故を防ぐには介護者の注意が必要

80歳以上から、介護ベッド及び関連製品による死亡・重傷事故が増えています。主に事故は介護ベッド周りの隙間に頭や首、手足を挟み込むことで起こっています。介護者は介護ベッド及び関連製品の隙間に細心の注意を払い、必要に応じてカバーなどで隙間を埋めるなどの対策を行ってください。80歳以上の事故は、介護ベッドの挟み込みや暖房機能付き便座の低温やけどなどで、高齢者本人のみならず介護者や家族の不注意による事故が発生しています。

■注意するポイント

周囲が高齢者に配慮する。

- ・わずかな隙間で介護者が不在の時に高齢者の身体が隙間に挟まれるおそれがあるため、保護カバーを掛けてください。
- ・高齢者は感覚機能が低下し、異常に気付きにくくなるため、家族や周囲の方々は高齢者の変化を見逃さず、製品の使用を変化に合わせて制限するなどの対応も検討してください。

電動車いすは、十分に練習を行う

走行中に河川や用水路、斜面へ転落する事故が発生しており、傾斜した路面や下り坂はハンドルを取られやすいため、注意が必要です。まずは電動車いすの操作や速度に慣れましょう。買い替えた際は新しい製品の操作に慣れるまで十分練習を行い講習会などにも参加しましょう。また、体調不良の際は運転させない、踏切を横断するルートは極力控えてもらうなど、周囲の人も気を配りましょう。

●屋外などで作業をされる高齢者の方へ

脚立・はしご・踏み台からの転落事故に注意

死亡事故は1件ですが、脚立・はしご・踏み台は重傷事故の多い製品です。事故は、庭木などを剪定(せんてい)している際に発生しています。60歳代から70歳代は体力に自信がある方も多いと思われませんが、今まで繰り返し行ってきた作業でも、事故が発生する場合があります。慣れや油断、体力の過信も禁物です。

■注意するポイント

慣れや油断は禁物、注意事項を守る。

- ・脚立の天板には乗らない。また、天板をまたいでの使用は控える。
- ・高所作業は必ず補助者を付ける。
- ・自分の能力を過信せず、年代が上がるにつれ、体力や判断力は低下することを意識する。

参考 安全装置のついた製品

■石油ストーブ・石油ファンヒーター

石油ストーブをはじめとする石油燃焼機器は、平成 21 年から消費生活用製品安全法の「特定製品」に指定され、平成 23 年からは PSG マークの無い製品は販売することができなくなりました。PSG マークのついた製品は、

- ・給油時、機器からカートリッジタンクを抜いた場合 90 秒以内に消火すること。
- ・閉止音や目視または感触等でふたがしまっていることが確認できること。

などの機能を有しています。



■介護ベッド

介護ベッドにおけるサイドレールやベッド用手すりの隙間に頭や首、手足を挟み込むことによる窒息、骨折事故を防ぐために、「JIS T 9254 在宅用電動介護用ベッド」が平成 21 年に改正・公示され、国際規格に合わせた隙間の規定の見直しが行われました。更に国際規格の改定に合わせ、平成 27 年にも規定の見直しを行い、現在の規定では、

- ・サイドレール内の隙間は、頭部が入らないように隙間寸法を 120mm 以下とする。
- ・サイドレール間の隙間は、首が入らないように、また胸部を挟まないように、隙間寸法を 318mm より大きいか、または 60mm 以下とする。

と定められています。しかし、平成 21 年以前に製造された製品もまだまだ流通しており、製造事業者は、そのような製品に対して、隙間への挟み込み防止措置を施すように呼びかけています。

社告・リコール製品について

高齢者の事故の多くは誤使用や不注意ですが、製品に不良があったために起きた事故もあります。以下に一例を記述します。お持ちの製品がリコール対象製品の場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、事業者にご連絡をしてください。

◆介護ベッド用手すり

介護ベッドの手すりにつかまって起きようとしたところ、ベッドの部品が壊れて頭側が下方方向に傾き、バランスを崩した使用者が胸部を強打した。(平成 25 年 6 月 1 日) (埼玉県、70 歳代・男性、重傷)

ベッドの枠を固定する部品が強度不足だったために発生した事故です。製造事業者は製品の改修を行っています。

◆車いす (入浴用)

車いすが急に折りたたまれ、乗っていた高齢者が転倒し、足に重傷を負った。(平成 27 年 3 月 14 日) (福岡県、80 歳代・女性、重傷)

車いすの折りたたみ機構のロック部分に不良があったために発生した事故です。製造事業者は製品の改修を行っています。

◆踏み台

踏み台のヒンジ部分が破損し、転倒、負傷した。(平成 24 年 11 月 13 日) (和歌山県、60 歳代・女性、重傷)

踏み台の脚部を支えるヒンジ部の製造工程において、製造不良があったため部品に亀裂が生じ、使用時に破断したことで事故に至ったものです。製造事業者は製品の交換を実施しています。

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降に製造事業者、販売事業者等の事業者が行った社告・リコール情報を収集したデータベースを公開しており、社告・リコール情報の検索を行うことができます。

例として、高齢者が死亡・重傷事故に多くあっている製品の社告・リコール情報を別紙 2 に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。



お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 新井 勝己
担当者 穴井、酒井、向井

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

表 2 事故原因区分一覧

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

社告された製品かどうか品番等を確認し、該当すれば継続して使用せず、メーカーに連絡する。

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2016/3/19	電気ストーブ	ユアサブプライム株式会社 (法人番号:6010001059673)	[製品名及び型式] 商品名:カーボンヒーター 型番:(1)リモコンタイプ/YA-C945SR(WH)/JANコード:4979966463951 (2)リモコンタイプ/KYA-C915R(WH)/JANコード:4979966464897 (3)メカタイプ/YA-C900S(WH)/JANコード:4979966463937 [問い合わせ先等] ユアサブプライム 修理回収窓口 フリーダイヤル:0120-801-798(携帯電話・PHSからも利用可) 受付時間:平成28年3月27日(日)まで9:00~17:30(土、日、祝日を含む毎日) 平成28年3月28日(月)以降9:00~17:30(土、日、祝日を除く) URL: http://www.yuasa-p.co.jp/company/pdf/20160319.pdf
2016/1/20	セラミックファンヒーター	小泉成器株式会社 (法人番号:3120001079011)	[製品名及び型式] 商品名:コイズミセラミックヒーター 品番:KCH-1233 JANコード:4981747042309 [問い合わせ先等] 小泉成器セラミックヒーター専用窓口 ◆専用フリーダイヤル:0120-300-731 ※携帯電話・PHSからも利用できますが、050などのIP電話からは接続できません。 ◆受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日を除く) ※2016年2月1日までは9:00~19:00まで毎日受付。 URL: http://www.koizumiseiki.co.jp/
2012/2/24 2013/03/11 再社告	電気ストーブ	燦坤日本電器株式会社 (法人番号:9010501021064)	[製品名及び型式] ・TSK-5303(Q、Y、L、)シリーズ(2003年製~2007年製) ・SHQ-8(2007年製) ・SHH-8(2007年製) ・SHU-8(2007年製) ・FS-800W(2005年製~2007年製) [問い合わせ先等] 燦坤(サンクン)日本電器株式会社「電気ストーブ回収ダイヤル」 ・フリーダイヤル:0120-600-527 ・受付時間:09:00~17:00(土・日祝日は除く) 但し2012年2月3日は土曜・日曜・祝日受付可 ・URL: http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html
2010/9/1	石油ストーブ	(輸入元)株式会社千石 (法人番号:5140001076302) (販売元)株式会社グリーンウッド (法人番号:8140001076175) (販売元)日本エー・アイ・シー株式会社 (法人番号:2140001076949)	[製品名及び型式] 株式会社 グリーンウッド ・グリーンウッド GKP-S241N、GKP-M2401N、GKP-W301N 日本エー・アイ・シー株式会社 ・アラジン AKP-U28A、AKP-S280、AKP-S300 [問い合わせ先等] お客様相談窓口 ・フリーダイヤル:0120-15-1059 ・受付時間:09:00~17:00(土・日・祝日を除く) 株式会社 千石 http://www.sengokujp.co.jp/ 株式会社 グリーンウッド http://www.gwgw.co.jp/ 日本エー・アイ・シー株式会社 http://www.aladdin-aic.com/mt_download_data/ADHP0831.pdf
2008/9/18	石油ストーブ	株式会社 コロナ (法人番号:5110001014116)	[製品名及び型式] 石油ストーブ(よごれま栓タンク) [問い合わせ先等] ・お客様相談窓口 ・フリーダイヤル:0120-623-238 ・受付時間:9:00~17:00 (土・日・祝日を除く。但し9月中は土・日・祝日も受付します。) http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html
2001/10/16	電気ストーブ	日本フィリップス株式会社 (現 株式会社 フィリップスエレクトロニクスジャパン) (法人番号:1010401025874)	[製品名及び型式] オイルヒーター HD3477、HD3478、HD3479 [問い合わせ先等] フリーダイヤル 0120-666105 受付時間 午前9時~午後7時(10月末までは土・日・祝日:「午前9時~午後5時」も対応)
2008/2/15	手すり(介護ベッド用)	パラマウントベッド株式会社 (法人番号:7010601008657)	[製品名及び型式] スイングアーム介助バー(KA-095シリーズ) [問い合わせ先等] [コールセンター] ・フリーダイヤル:0120-33-5872 ・受付時間:9:00~17:20(土・日・祝日・夏季休業・年末年始休業を除く) http://www.paramount.co.jp/

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2014/11/17	踏み台	コーナン商事株式会社 (法人番号:2010401061919)	<p>[製品名及び型式] 対象商品型番 ・フォールディングステップ M ブラウンT-1090/JANコード:4522831603299 S ブラウンT-1089A/JANコード:4522831603305 ・LFXフォールディングステップ M グリーン/JANコード:4522831704231 S グリーン/JANコード:4522831704224 M ピンク/JANコード:4522831704255 S ピンク/JANコード:4522831704248</p> <p>PM KAR18-9292/JANコード:4522831389292 PS KAR18-9308/JANコード:4522831389308</p> <p>GM KAR18-9315/JANコード:4522831389315 GS KAR18-9322/JANコード:4522831389322 色:ブラウン・グリーン・ピンク サイズ:M 高さ39.0cm × 奥行 32.0cm × 幅 39.0cm S 高さ22.0cm × 奥行 25.0cm × 幅 31.0cm</p> <p>[問い合わせ先等] ・フリーダイヤル:0120-04-1910 ・受付時間:09:00~17:00(土・日・祝日を除く) ・URL:http://www.hc-kohnan.com/important/images/2014.11.17_oshirasetoowabisteo.pdf</p>
2013/7/8	アルミ踏み台	コーナン商事株式会社 (法人番号:2010401061919)	<p>[製品名及び型式] アルミ スリム踏み台 2段 JANコード:4522831517138 アルミ スリム踏み台 3段 JANコード:4522831517145</p> <p>[問い合わせ先等] お客様サービス室 ・フリーダイヤル:0120-04-1910 ・受付時間: 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く) ・URL:http://www.hc-kohnan.com/important/images/2013.07.08_arumifumidai.pdf</p>
2017/6/1	椅子	株式会社リッツウェル (法人番号:4290001017449)	<p>[製品名及び型式] 商品名:ダイニングチェア ブラヴァ(肘なし) 品番:1293、1294、1295、1296、1297、1298</p> <p>[問い合わせ先等] 株式会社リッツウェル ダイニングチェア交換受付窓口 ◆電話番号:0120-584-224 ◆受付時間:10:00~18:00(日・祝日を除く) 事業者URL:http://ritzwell.com/image_index/2017_chenge.pdf</p>
201203/16	手すり用固定金具	榎本金属株式会社 (法人番号:6120001041579)	<p>[製品名及び型式] 機種:手摺受け金具(階段、廊下、玄関使用) 1)品番:YS35-S 色:ブロンズ/ゴールド/シルバー 2)品番:YS35-W 色:ブロンズ/ゴールド/シルバー 3)品番:YS35-NS 色:ブロンズ/ゴールド/シルバー</p> <p>[問い合わせ先等] ・フリーダイヤル:0120-634-500 ・受付時間:09:00~18:00(日曜、祝日、夏季休業、年末年始を除く) ・URL:http://www.enomotohardware.co.jp/pages/index.html</p>
2010/3/10	室内手すりブラケット	三協立山アルミ株式会社 (法人番号:2230001010080)	<p>[製品名及び型式] 室内手すりのブラケット(壁付け型) 3色(シルバー・ゴールド・ブロンズ)</p> <p>[問い合わせ先等] 住宅お客様相談センター ・フリーダイヤル:0120-202-436 受付時間:月~金曜 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日曜、祝日、夏期休業、年末年始を除く) http://www.sankyotatayama-al.co.jp/news/2010news/sa20100310.html</p>